

## 8 大阪市保育士・保育所支援センター

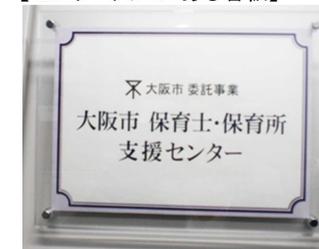
大阪市保育士・保育所支援センター（以下センター）は株式会社ニッソーネット（以下ニッソーネット）が大阪市から受託運営している。平成25年10月30日にニッソーネット社内の一角にセンターを開設して運営を開始し、9人の職員がセンターの運営を担当している（平成26年9月時点）。職員には保育士有資格者と保育士就職の専門コーディネーターに従事した経験のある者がいる。市内2ヶ所に設置されたセンター（梅田センター・阿倍野センター）の開所時間は日曜日～土曜日の9時～18時であり、コールセンターでは月曜日～土曜日は20時まで電話での問い合わせを受け付けている。大阪市こども青少年局保育施策部保育企画課と随時連携を図って運営しており、市内の保育士就職の支援促進と定着に取り組んでいる。

### 1 センターの取組内容

業務内容は就職相談、求人情報の提供、マッチング、保育所からの求人・人材活用に関する相談と助言、保育士再就職支援研修と実習の実施である。就職支援対象者の拡大にも取り組んでおり、潜在保育士の掘り起こし、近隣府県の保育士養成施設に向けた市内保育所の求人情報の提供とセンターのPR活動も行っている。ニッソーネットは受託以前から福祉分野を対象と

した人材サービス事業を展開しており、大阪市による保育士・保育所支援センターの委託事業者選定（企画提案方式）の公募に応じ、決定された。

【センター入口にある看板】



### (1) センターの運営

センターの開所時間は、月曜日～金曜日は依頼に応じて最大19時まで対応し、土日も窓口を開けている。また、フリーダイヤルのコールセンターでは一部祝日の問い合わせにも応じている。ホームページでは求人情報の公開や研修・就職フェアの開催告知、センターを利用して潜在保育士から就職した経験者の談話などを紹介している。

【大阪市保育士・保育所支援センター 開所時間】

曜日	センター受付	コールセンター
月曜日～金曜日	9時～18時 (19時まで応相談)	9時～20時
土曜日		9時～18時
日曜日		
一部祝日	電話対応の後、折り返し	

### (2) 求職登録

求職登録（保育士）は2ヶ所のセンターで受け付けている。登録者の求職の意思や求職条件を可能な限り把握して効

果的な支援・マッチングを行うため、センターにて面談後、求職登録を行うようにしている（面談は基本的に予約制）。現職保育士の転職に関する就職あっせんについては、現勤務先の離職を促すこととなるため、実施しないこととしている（登録は可能）。開設から平成26年9月までの登録者は584人、登録施設は197施設である。

### (3) マッチングの実施

マッチングに当たってはコーディネーターが求職者と求人事業者のニーズを十分に理解した上で勤務条件の調整を入念に行う。求職者が就労前に抱いていたイメージと就労後の現実とのギャップを可能な限り解消するべく、保育所との面談前に求職者の施設見学を勧奨している。職場の雰囲気や実際の仕事内容など求人票からはわからない事柄について、求職者自身が確認することで、納得して保育所との面接に臨むことを重視している。求職者が希望する場合はセンター職員が施設見学に同行している。電話と相談による就業後のフォローアップにも取り組み、相談件数は平成26年9月までに10件受け付けた。

【センター面談室】



### (4) 就職フェアの実施

「保育所就職フェア」として平成25年度は1回、平成26年度は8月、11月、1月の計3回開催し、8月、11月の実施で累計40施設、199人が参加した。

「就職相談会」では市内の認可保育所20施設以上が個別面談ブースを設け、採用が決定されることもある。センターは「求職者登録ブース」を開設するほか、復職に際しての注意点に関

するセミナーを開催している。託児所を完備し（予約制、定員9人）、事前に予約した来場者には保育関連書籍の無償配布を行うなど来場に際しての動機付けにも積極的に取り組んでいる。

### (5) 研修の実施

保育セミナーとして現在は保育所に勤務していない保育士有資格者を対象としたもの9種類と保育所中堅職員を対

### 【保育所就職フェア チラシ】

象としたもの1種類の研修を実施している。参加者は平成26年8月まで134人に上る。保育士有資格者対象のセミナーは、いずれも参加費無料の予約制であり、就業経験の有無は問わない。梅田センターと阿倍野センターを会場とし、開催日程は就職活動が本格化する9月以降に集約している。各講座は概ね毎月一回の頻度で開催するため、約2ヶ月で全講座が受講できるよう配慮されている。

【保育セミナー 講座内容と累計参加者数 平成26年度実施内容】

セミナー名	内 容	開催時間
制度改定・新保育所保育指針	最新の保育事情・子ども子育て新制度・新保育所保育指針・保育現場の現状	10:00～15:00
救急救命・応急処置	心肺蘇生法・AEDの操作法・基本的な応急処置	10:00～15:00
リスクマネジメントと保護者対応	虐待が疑われる場合の対応と報連相・保護者からのクレーム対応	10:00～15:00
保育実技(2日間)	乳児の抱き方、調乳/授乳、おむつ交換、わらべうた、手遊びなど保育現場で求められる実践実技	10:00～17:00
接遇マナー	社会人としての身だしなみ・保育現場に於ける保護者・来客への対応・連絡ノートでの言葉遣い	10:00～12:00
発達障がい	発達障害についての理解を深め、早い段階での「気づき」を目指す・保護者への対応や保育所での連携など	10:00～15:00
こどもと体育	「運動はなぜ幼児に必要なか」「遊びと運動」「発育発達をふまえた遊びの実例」など保育者が理解しておくべき基本的な理論と実践	10:00～15:00
履歴書の書き方セミナー	履歴書の基本的な書き方と印象づける工夫	10:00～12:00
マジックパルーンセミナー	子ども達に人気のあるパルーンのセミナー・イベント時の装飾やプレゼントに活躍する	10:00～12:00

保育所中堅職員対象の研修は「保育所の一番の原因となっている「職員間の人間関係」について、最も影響力を持つのが、主任をはじめとする中堅職員」（センター資料より引用）という考えに基づき、中堅職員のマネジメント・リーダー力の育成を通じて保育所の就業定着率の向上を図ることを目的としている。いずれも参加費無料、約3時間の講習であり、第2回「部下の育成指導とリーダーシップ、離職防止のマネジメント」には19人が参加した。

【保育所中堅職員対象研修 アンケートから一部抜粋】

参加者の属性	参加理由	マネジメントで困っていること
理事長 所長 主任 年齢別リーダー クラス担任	・セミナー内容に興味があった ・市の事業で安心だから ・日程・時間が良かった ・保育所から受講を指示された	・次の中堅職員が育っていない ・職員が受け身で自立していない ・職員のモチベーションが低い ・新人職員のスキル不足 ・職員の仲が良すぎる ・能力や働きぶりに応じた評価制度がない

2 センター運営の特徴・工夫点

特筆すべきは年度毎の目標採用者数を設定している点である。平成26年度は250人の採用目標者数に対し、7月時点で登録者165人、就業決定者63人、進捗率25.2%であった。年度初頭から目標数を掲げて運営を実施することで、目標達成に向けた具体的な進捗状況を知ることができる。また、数字による見える化は効果的な取組であるかを判断するひとつの材料となる。採用者数の目標値は大阪市が委託事業者公募の際、市域の保育所における今後の保育士の需給見込みを立てた上で

設定し、目標が未達成であれば委託料が減額され、目標値を大幅に上回ればインセンティブを加算するという条件で委託契約を

### 【大阪市保育士・保育所支援センター リーフレット】

**当センターの役割**

**保育士の方へ**

- 現在保育所に勤務されていない保育士の方からの就職に関するご相談
- 勤務先アップのある保育士の方のための就職支援研修の実施
- 保育士の方の希望に合う大阪市内の保育所の求人情報のご提供とご面談
- 保育所に勤務することになった保育士の方からのご相談（フォローアップ）
- 就職先保育士と養成施設の学生・卒業生の方に大阪市内の保育所の就職あっせん

**保育所の方へ**

- 保育所等における保育士求人に関するご相談
- 保育所等への保育士のお勧め
- 保育士など人材の確保に関するお問い合わせ（フォローアップ）

対象：認可保育所、認定こども園、小規模保育事業

**大阪市保育士・保育所支援センター**  
 相談・登録でご来所の際は、事前にお電話ください。  
 休館日：月～金曜日（祝日、休日、年末年始を除く）  
 受付時間：9:00～17:00

**梅田センター**  
 ●高専・短大・大学・専門学校  
 ●就職支援センター

**阿倍野センター**  
 ●高専・短大・大学・専門学校  
 ●就職支援センター

**お問い合わせはコチラ 専用コールセンター**  
**0120-977-655**  
 受付時間：09:00～20:00 土日祝日：09:00～18:00

株式会社 ニッソーネット 登録番号 27-5-00166  
 保育所求人サイト（24時間）  
<http://hoikubabake.jp/>  
 ニッソーネット株式会社  
<http://www.nissonet.co.jp/company/>

交わっている。さらにニッソーネットが人材サービス事業で培ってきた広報力を活用し、予算を効果的に配分するノウハウの蓄積により、実態に即した広報費を設定、社内の経営資源を活用している。センター利用者へのフォローアップとしては来所者を対象としてアンケートを実施、運営改善に関する PDCA の一環としてフィードバックを行っている。

### 3 センター運営の実績

センター運営による採用者はセンター開設から平成 26 年 8 月末時点で 185 人（平成 25 年度：109 人、平成 26 年度：76 人）である。同時期の求人数：152 件、求職登録者：584 人、紹介者数：248 人を換算すると 75%の採用数である。就職先は主に私立の認可保育所と認定こども園であり、雇用形態別ではフルタイム 137 人、パートタイム 48 人である。

### 4 センター運営の課題

運営に当たって以下の 3 点が挙げられている。①登録者の地域偏在：保育所所在地による人材供給の偏り、②50 代以上の就業率改善：保育所対象のセンター事業説明会において 50 代以上の採用に向けた前向きな検討を依頼（「50 代以上の保育士が就労している場合は保育所全体の就業定着率が高い」というセンターの分析に基づく）、③実習を有効に使ったマッチング率の向上：保育所での実習者を採用に結びつける手法の開拓である。

### 【センター利用者の声】（HPより転載）

- ① 販売職に携わっていたのですが、店舗の閉店がきっかけで転職を考えていたところ、保育士の資格を持っていたので周囲の方からも勧められました。ただ、約 17 年のブランクがあったので、長期的に続けられるのか、年齢的に体力や、職場の雰囲気、仕事内容など全般的に不安に感じていました。保育の仕事に戻れたことはすごくよかったと思っています。この担当さんだからこそ復職できたと思っています。毎日、いろんな子どもたちの成長が見られることが楽しいです。潜在保育士の方は、保育のお仕事に携わりたいという気持ちがあれば、一度チャレンジしてみて、自身の目で現場を見てほしいと思います。自分自身に合っている保育所を探すことがすごく大事ななと感じています。
- ② 卒業後、一般企業への道を選んだので、保育士として就職するまでは 5 年空きました。今までは大人相手に仕事をしていたのが、子ども相手の仕事になったので、言葉づかいやうまく通じるのかなということが一番不安でした。また、子どもに対しての危機管理についても不安はありました。ですが、想像していたよりも楽しく働いています。子どもたちは、毎日違って、短時間でも変化がわかります。昨日はできなかったことが、今日ではできるようになったりと、小さい変化が見えることにやりがいを感じます。潜在保育士から復職を目指す方は、私も同じでしたが、未知の世界に入るので、絶対に不安だし躊躇してしまうと思います。一歩踏み出したら、後悔はしない仕事だと思います。